

## <2015年 年間派遣社員実稼働者数等の傾向>

### [ 地域 ]

- (全地域) 全地域で見ると、全ての月で対前年同期比が100%超となり、年間平均も2014年に続き100%超となった。しかし第4四半期には、北陸が各月で前年同期比100%を割り、12月単月では、東北、四国が同100%を割っている。
- (北海道) 月別では7月のみ、対前年比が100%を割った。年間平均では、対前年比103.6%と増加したものの、通年での増加は見られず、9月 12月と実稼働者数は横ばいで、2,3月の実稼働者数を上回ることはなかった。
- (東北) 年間平均では対前年比が4年ぶりに100%超となった。実稼働者数では、12月に10,207人と最多になったものの、逆に単月では対前年同期比で100%を唯一割り込んでいる。第1四半期平均が、第4四半期平均を上回り、通年で見ると増加傾向とはいえない。
- (南関東) 年間平均で対前年比103.4%、全ての月で対前年同期比が100%を超えた。3月 4月と実稼働者数が急減したが、7月以降は増加を続け、12月には年間最多の177,848人になった。第4四半期平均では、2009年の実稼働者数を超えている。
- (北関東・甲信) 年間平均で対前年比105.2%となり、全ての地域で最も高い数字となっている。全ての月で対前年同期比が100%を超えた。12月の実稼働者数15,609人は、同調査開始以来最多である。
- (北陸) 年間平均で対前年比100%を超えたものの、9月で対前年同期比99.1%となった後は、100%超となることはなかった。実稼働者数は7月 11月と横ばい、11月 12月と増加したものの、第4四半期平均では対前年同期比94.0%となり、全ての地域で唯一、100%を割った。
- (東海) 全ての月で対前年同期比が100%を超えた。年間平均は2年連続で対前年比100%超となった。
- (近畿) 全ての月で対前年同期比が100%を超えた。年間平均は2年連続で対前年比100%超となった。
- (中国) 月別では対前年同期比で100%超となったのは1,4,12月のみ。年間平均で対前年比100%を割った。しかし、11,12月では、3月の実稼働者数を上回り、9月 12月と増加傾向にある。
- (四国) 第1四半期平均と第4四半期平均で、対前年同期比で100%超となったものの、第2四半期では、対前年同期比85.0%、5月単月では対前年同期比で80%を割り込んだ。年間平均では対前年比96.5%と全ての地域で最も低い数字となった。
- (九州) 3月を除き対前年同期比が100%を超え、年間平均は2年連続で対前年比100%超となった。しかし、2月 3月と実稼働者数が急減すると、その後、増減を繰り返しはするものの2月の実稼働者数を上回る月はなかった。

### [ 業務 ]

- (注) 第4四半期(10~12月)の業務別実労働者稼働数について  
2015年9月30日施行の労働者派遣法の改正により、政令業務・自由化業務等の業務区分がなくなったため、第4四半期においては、第1~3四半期と同様の業務別集計が困難となっています。  
また、改正労働者派遣法施行後の労働者派遣事業報告書(様式11号)内にある新たな業務区分について現状では準備が整っておりません。こうした事情から10~12月の統計調査は、従来の区分のサンプルデータ、新たな区分のサンプルデータ、その他のサンプルデータを交えた集計となっています。

従って、業務によってはデータが大幅に増減しておりますので、ご注意ください。

年間平均では、「貿易」以外では対前年比100%超となった。

- 「情報処理システム開発」は、10月まで対前年比100%を超えた。3月4月で実稼働者数が減少し6月に一旦増加したものの、9月まではほぼ横ばいである。
- 「機器操作」は、10月まで対前年比100%を超えた。
- 「財務」は、9月まで対前年比100%を超えた。しかし、実稼働者数は3月8月まで減少を続けている。
- 「貿易」は、1月4月まで毎月、対前年同期比100%超となったが、5月以降、対前年同期比で100%超となることはなかった。
- 「一般事務」は、増加傾向が継続しており、全ての月で対前年同期比100%超となり、年間平均で対前年比111.1%となった。5月12月と、増加を続け、1月と12月とを比較すると約1万人増加している。
- 「営業」は、全ての月の対前年同期比で100%超となった。
- 「販売」は、第1四半期平均で対前年同期比100%を割った。7月9月は実稼働者数が減少している。
- 「製造」は、全ての月で対前年同期比が100%を超え、年間平均でも100%超となった。通年では、微増・微減を繰り返したが、12月の9,171人は同調査開始以来、最多の実稼働者数である。
- 「軽作業」は、1月と12月で対前年同期比90%を割った。第2四半期平均、第3四半期平均では対前年同期比100%超となる一方で、第1四半期平均、第4四半期平均では100%を割り、増減が顕著になっている。

#### [ 紹介予定派遣 ]

1月で対前年同期比100%を割り、実稼働者数は第1四半期通期で減少した。8月以降は対前年同期比で100%超となることはなかった。10月以降は、対前年同期比で80%を割る状況になっている。成約件数も年間合計で、対前年比100%を割った。

#### [ 日雇派遣労働 ]

全ての月で対前年同期比が100%を下回り、年間平均では対前年比87.0%と、90%を割った。特に12月は対前年同期比71.6%と、3万人以上減少している。